



■ ご存じですか？碧南市民病院は臨床研修指定病院です

臨床研修指定病院とは、医学部または歯学部を卒業し国家試験合格後に、医師や歯科医師が研修医として臨床研修を行い、基本的な臨床能力を身につけることができる病院のことをいいます。

市民病院では、平成15年10月に臨床研修指定病院に指定され、研修医の教育に力を注いでいます。これまでに60人以上の研修医が研修を終え、全国で医師・歯科医師として働いています。令和2年2月現在、8人（医科6人・歯科2人）の研修医が在籍しており、救急外来や外来で診療しています。



■ 医師・研修医の確保に力を注いでいます

全国的に医師不足と言われており、市民病院でも医師不足に苦しんでいます。医師・研修医を十分確保できるよう、大学医局への働きかけ、修学資金をはじめ、全国の医学部へのPR、待遇改善など、病院全体を挙げて採用、病院PR活動に取り組んでいます。



5月23日(土)に予定していたハナちゃんフェスティバルは延期します

開催日が決まりましたらお知らせします。楽しみにしていた皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史資料調査室
☎(41)4566

No.71 鷲塚城跡の記念碑

2月5日に、尾城公園（尾城町2丁目地内）で鷲塚城跡記念碑除幕式が執り行われました。記念碑を建てることを計画したのは、碧南郷土史を学ぶ会会員で、鷲塚城のあった高台に土地を所有されている中山町在住の高橋祐治さんです。貞照院（霞浦町）の住職も記念碑の礎石の提供で後押しをされました。

戦国時代、鷲塚の片山遵通という武将にお亀という女性が刈谷城から嫁いできました。お亀が嫁いだ片山屋敷は、現在の荒子の神明社の場所にありました。ところがお亀の夫は早くに亡くなってしまい、片山家を継いだ夫の弟は、桶狭間合戦丸根岩攻めで討ち死にしてしまいました。一方、お亀の実家刈谷城では、お亀の兄城主水野信元と弟の忠重の折り合いが悪くなってしまい、忠重は仲間と刈谷城を飛び出しました。

お亀は、居場所に困っている忠重と仲間の武将たちを、お客人として片山家へ迎え入れました。やがて忠重や仲間の武将は、家康に招かれ岡崎城へ入り、家康の家臣となっています。

家康は叔父にあたる忠重を鷲塚の地頭を命じました。忠重は現在の尾城町・城山町の場所に砦を築き20年間、鷲塚を治めました。これが鷲塚城です。

忠重の菩提寺は広島県福山市にある賢忠寺です。記念碑の文字は賢忠寺の水野寛厳前住職に揮毫していただいています。前住職は忠重公以下歴代水野家当主のお名前を毎朝唱えられるそうです。書家、墨絵画家としても有名で、NHK広島放送局の書道講座講師も担当した人です。この文字と石碑は永く鷲塚城の歴史を伝えてくれるものと思います。

